

福祉

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
福 祉	介護過程	3	3年次・M群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
介護過程（実教出版）		介護福祉士実務者研修テキスト第4巻 介護Ⅱ（中央法規）		福祉サービス系列の生徒は必ず履修する。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護過程の展開に必要な資質・能力を育てる。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技術	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
介護過程について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

2 学習計画と観点別評価項目

学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	第1編 介護過程 の意義と 役割	4	・介護福祉士の専門性における位置づけについて理解する。	1 2
				・介護の目的の法的な位置づけと介護の基本原則について理解する。	1 2
				・根拠にもとづいた介護実践について理解する。	1
			5	・介護過程の基本的な考え方について理解する。	1 2 3
				・介護過程の意義と目的について理解する。	1 2
		第2編 介護過程 の展開	6	・I C F（国際生活機能分類）の考え方と活用について理解する。	1
				・アセスメントの意義と目的、方法について理解する。	1 2
				・情報収集の目的・留意点とI C Fを活用した情報収集について理解する。	1 2 3
				・情報の解釈・関連づけ・統合化の方法と留意点について理解する。	1 2
				・課題の明確化と優先順位の考え方について理解する。	1 2
			7	・アセスメント表の作成について理解する。	1 2 3
		第2章 介護計画の立案	9	・介護計画の意義と目的について理解する。	1
				・介護計画の立案の視点について理解する。	1
				・介護目標と具体的な支援内容・支援方法の設定について理解する。	1 2
				・介護目標と具体的な支援内容・支援方法の設定の実際について理解する。	1 2 3
				・介護計画書の作成について理解する。	1 2 3
	2 学 期	第3章 介護計画の実施	10	・介護計画を実施する際の情報共有と個人情報管理について理解する。	1
				・介護計画の実施における留意点について理解する。	1

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

		第3編 介護過程の 実践的展 開	3 介護計画の実施状況の把握	11	・介護計画を実施するうえで実施状況を把握する必要性について理解する。I	1 2 3	
			4 実施の記録		・記録によって情報共有することの必要性について理解する。	1 2	
3 学 期		第4編 介護過程とチ ームア プロー チ	第4章 介護計画の評価	12	・介護計画の評価の意義と目的、評価の方法と内容について理解する。	1 2	
			1 介護計画における評価		・介護計画の具体的な評価の方法と留意点について理解する。	1 2	
			2 介護計画の評価の方法と留意点		・介護計画を再検討する再アセスメントについて理解する。	1 2 3	
			3 介護計画の修正		・I C Fの視点を活用したアセスメントの情報収集の方法について事例をもとに理解する。	1 2 3	
			第1章 アセスメントの実際		・情報収集を踏まえた情報の解釈・関連づけ・統合化について事例をもとに理解する。	1 2 3	
			1 アセスメントの情報収集の実際				
		2 アセスメントの情報の解釈・関連づけ・統合化の実際					
		第2章 介護過程の実際	1	・介護老人保健施設で在宅復帰をめざす高齢者の事例をもとに介護計画の立案について理解する。	1 2 3		
		1 在宅復帰を望む利用者の介護過程の事例（介護老人保健施設）		・障害者支援施設で医療的ケアを受けながら生活している男性の事例をもとに介護計画の評価について理解する。	1 2 3		
		2 医療的ケアが必要な利用者の介護過程の事例（障害者支援施設）					
学 習 評 価	観点	1. 知識・技術		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度	
		○教科書の記述内容等を理解できているか。 ○資料を読み取り、概念的なことが理解できているか。 ○福祉に係る技術を習得できているか。		○学習内容を理解しようとしているか。 ○学習内容を適切に活用し、表現できているか。 ○学習内容を関連付けて考えることができているか。 ○福祉的な見方や考え方をもとに、課題の設定や考察、表現ができているか。		○学習内容に興味、関心をもち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。 ○積極的に課題解決に向けて、取り組んでいるか。 ○豊かな福祉社会の創造と発展のために主体的・協働的に取り組んでいるか。	
		手段		手段		手段	
		単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			
学習上の留意点		・学習内容には実務者研修の内容を含む。 ・グループワークでは、積極的に意見を出し合う。 ・タブレットを活用し、わからない語句等を調べた上で、事例研究を行う。					